

グリップヒーターHG&SP 取り付けについて E08Z51K1YS1/S2 **適合車種：PCX（JK05）、PCX160（KF47）、ADV160（KF54）**

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

警告 ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を見逃してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●接続する前に（重要）

・本商品は**純正バーエンド装着車のみ**対応しております。バーエンドが純正と異なる場合には、別途バーエンド固定用のボルトが必要になる場合がありますので、その場合には量販店およびホームセンターなどで適切な長さのボルトをお買い求めください。

・セット内容に不備が無いかを確認してください。

●構成部品●

- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・専用ハーネス・・・1本
- ・ワッシャー（2種類）・・・各1個（※SPのみ）
- ・スクリーン・・・1本（※SPのみ）
- ・書類・・・1部



10Pカプラ（黒）

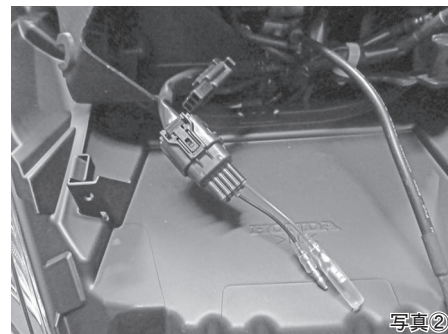
写真①

＜PCX、PCX160の場合＞

グリップヒーターを接続する前に車両のサービスマニュアルを参考にして、写真①の状態になるようにスクリーンやカバー類を取り外しておきます。
写真①を参考にしてグリップヒーター用カブラの位置を確認しておきます。

①配線の接続について

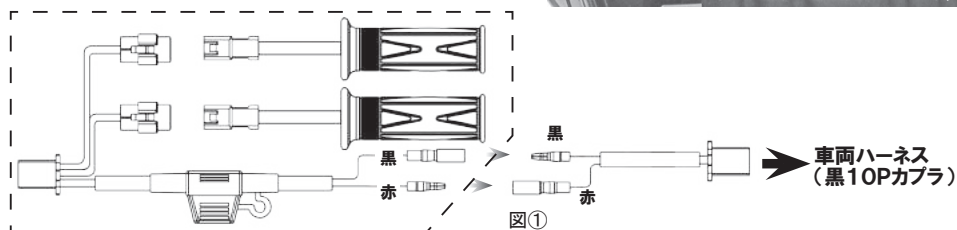
付属している専用ハーネスを車両のグリップヒーター用10Pカプラ（黒）に接続します。（写真②）



写真②

それぞれの配線を接続したら、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。
問題無く動作すれば、グリップとスイッチは一旦ハーネスから外しておきます。

グリップヒーター本体付属

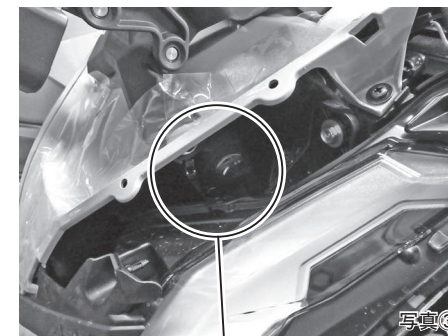


図①

車両ハーネス
（黒10Pカブラ）

＜ADV160の場合＞

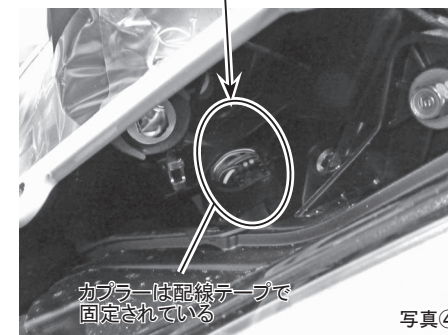
・本商品を接続する前に車両のサービスマニュアルを参考にして、写真③または写真④の状態になるようにカバー類を取り外しておきます。
写真③、④を参考にしてグリップヒーター用ギボシの位置を確認しておきます。



写真③

①配線の接続について（図①）

付属している専用ハーネスを車両のグリップヒーター用10Pカブラ（黒）に接続します。
それぞれの配線を接続したら、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。
問題無く動作すれば、グリップとスイッチは一旦ハーネスから外しておきます。



写真④

＜以下、共通＞

②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。
純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。



写真⑤

③スイッチ部の取り付け

＜HGの場合＞

付属のステーをハンドルパイプに固定します。（写真⑤）

→ハンドルの形状上、マスターシリンダホルダーの横以外での取り付けは難しくなっておりますので、ご注意ください。また、操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。その後、両面テープで制御スイッチを固定します。

＜SPの場合＞

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで固定します。（写真⑥）

→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。



写真⑥

④左右グリップの取り付け（参考例）

<SPの場合>

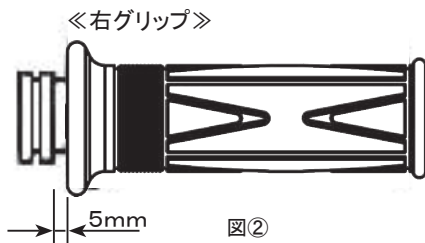
グリップヒーター本体の説明書を参考に、必要に応じてスペーサーを先に入れてからグリップを取り付けてください。（スペーサーが必要ない場合もあります）

<以下、HG、SP共通>

下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくとし込みやすくなります。また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。
※このとき、スロットル操作に問題無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に戻ることを確認してください。

⚠ 注意

左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。



図②

● 注意 ●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

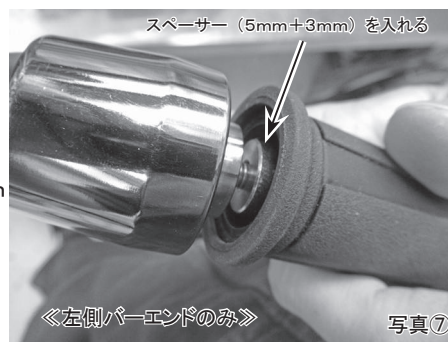
⑤左側バーエンドの取り付け（写真⑦）

※SPのみ（HGはそのまま取り付けする）

左右共にグリップヒーターの取り付けが終わったら、左側バーエンドの取り付けをします。（右側は純正と同様に取り付けします。）

純正グリップ状態に対して、約8mm長いので純正バーエンドを固定する際に付属のスペーサー（5mm+3mm）を左側のみに1個づつ入れてからバーエンドを付属のボルトを使用して固定します。

※純正ボルトのままだとネジ山がほとんどかからないので絶対に使用しないでください。

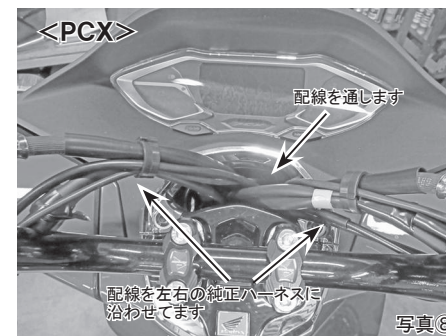


写真⑦

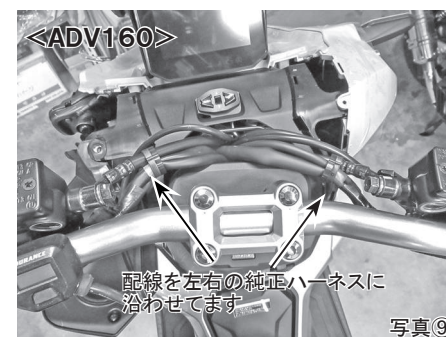
⑥配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、フロントハンドルカバーの間から左右グリップ、スイッチの配線を通してハーネスのカプラーに接続します。配線の長さが余っている部分はタイラップなどでまとめて固定します。

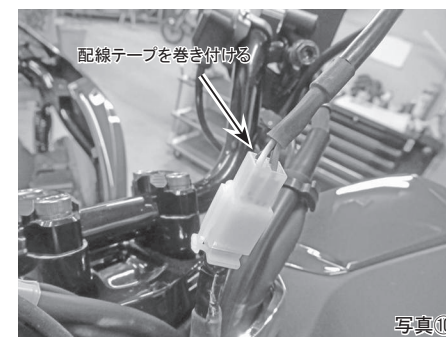
→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。



写真⑧



写真⑨



写真⑩

※このとき、ハーネスとスイッチの接続カプラー部は配線テープを巻き付けて防水処理を施してください。（写真⑩）

⑦取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。

問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com